

おぢや



市議会だより

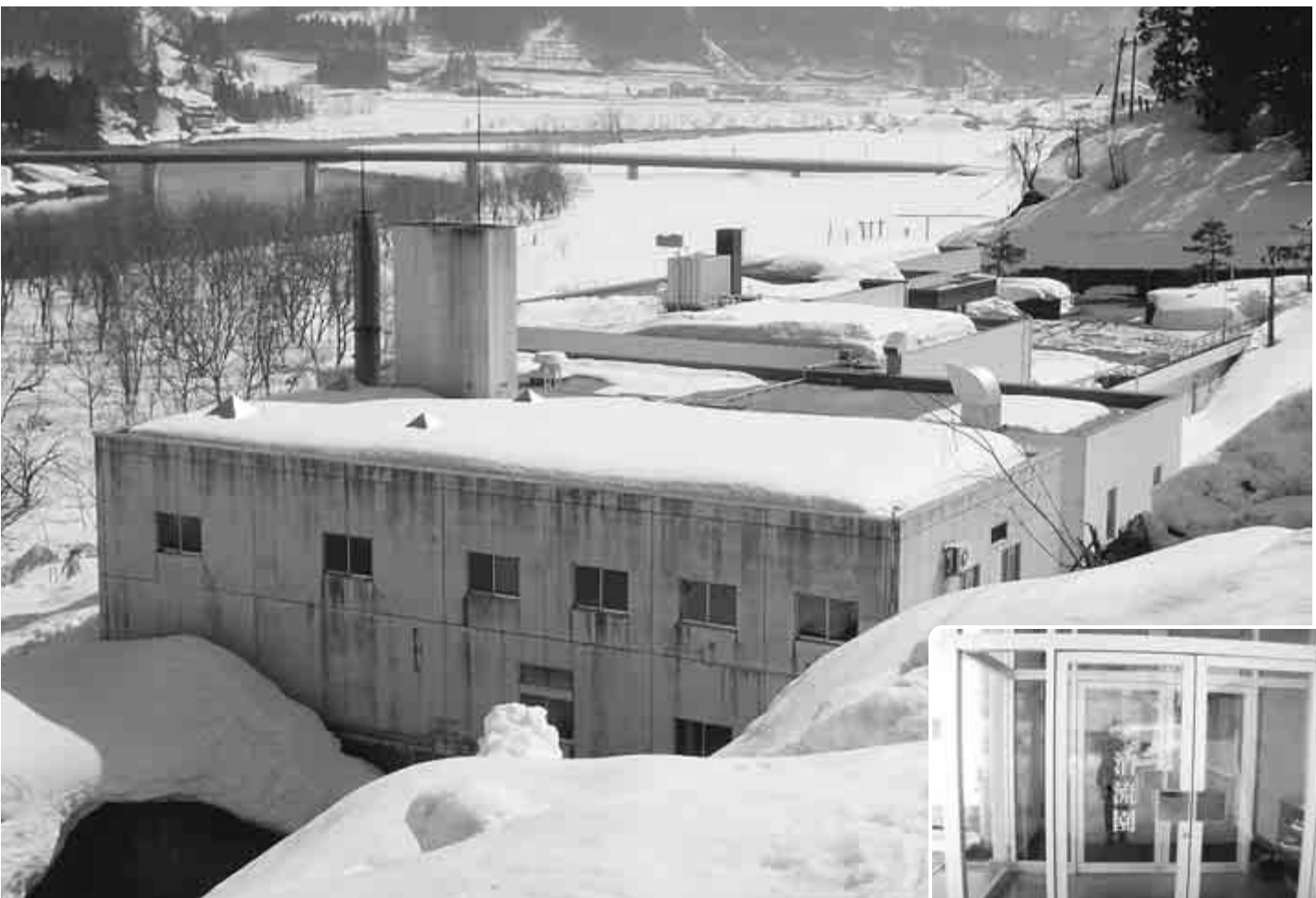
OJIYA CITY ASSEMBLY

NO. 64

24.4.25

編集発行
小千谷市議会

☎83-3505



衛生センター清流園

昭和51年竣工当時は小千谷市、川口町の69,688人のし尿処理を行っていた。その後、市街地の下水道敷設工事が昭和60年より始まり、現在は下水道に接続していない汲取りのし尿と、集落排水の汚泥、単独・合併浄化槽の汚泥の処理を行っている。

老朽化が進み、平成24年度は1億6,720万円、平成25年度は2億2,420万円をかけて施設設備の改良工事が行われる。

市民の生活に必要な不可欠の施設である。大切にしたい。

所在地 長岡市川口牛ヶ島2537-1
竣工 昭和51年9月

- 第1回定例会議決結果 … P 2
- 常任委員会報告 …… P 3～4
- 一般質問 …………… P 5～7
- 議会日誌 …………… P 8
- 雪あかり、編集後記 …… P 8

— 主な掲載内容 —

第1回定例会 議決結果

2月28日から3月21日まで開催し、次のとおり議決いたしました。

条例の制定・改正・廃止

- 小千谷市防犯まちづくり条例の制定 (全会一致)
- 小千谷市暴力団排除条例の制定 (全会一致)
- 小千谷市墓地等の経営の許可等に関する条例の制定 (全会一致)
- 小千谷市課設置条例の一部改正 (全会一致)
- 小千谷市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 (全会一致)
- 小千谷市新潟県収入証紙購買基金条例の一部改正 (全会一致)
- 小千谷市税条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷市手数料条例の一部改正 (全会一致)
- 小千谷市公民館設置条例の一部改正 (全会一致)
- 小千谷市立図書館条例の一部

- 改正 (全会一致)
- 小千谷市立保育所条例の一部改正 (全会一致)
- 小千谷市児童遊園設置条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷市子どもの医療費助成に関する条例の一部改正 (全会一致)

- 小千谷市介護保険条例の一部改正 (起立多数)

- 小千谷市土地改良事業の負担金の賦課徴収に関する条例の一部改正 (全会一致)
- 小千谷市道路占用料等徴収条例等の一部改正 (起立多数)

- 小千谷市営住宅条例の一部改正 (全会一致)

- 小千谷市公営企業の設置等に関する条例の一部改正 (全会一致)

- 小千谷市火災予防条例の一部改正 (全会一致)

- 小千谷市災害対策基金条例の廃止 (全会一致)

新年度予算

- 小千谷市一般会計予算 (起立多数)
- 小千谷市国民健康保険特別会計予算 (起立多数)
- 小千谷市介護保険特別会計予算 (起立多数)

- 小千谷市後期高齢者医療特別会計予算 (起立多数)
- 小千谷市工業団地事業特別会計予算 (全会一致)
- 小千谷市ガス事業会計予算 (全会一致)
- 小千谷市水道事業会計予算 (全会一致)

- 小千谷市工業用水道事業会計予算 (全会一致)

- 小千谷市下水道事業会計予算 (全会一致)

- 小千谷市工業用水道事業会計予算 (全会一致)



平成23年度予算の補正

- 小千谷市一般会計補正予算(第8号) (全会一致)
- 小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第3号) (起立多数)

- 小千谷市水道事業会計補正予算(第2号) (全会一致)
- 小千谷市工業用水道事業会計補正予算(第2号) (全会一致)
- 小千谷市一般会計補正予算(第9号) (全会一致)

その他

- 専決処分(平成23年度小千谷市一般会計補正予算(第7号)) (全会一致)
- 小千谷市財政調整積立金の処分 (全会一致)
- 公共施設の相互利用に関する協定書の一部変更 (全会一致)
- 魚沼地区障害福祉組合規約の変更 (全会一致)
- 小千谷市魚沼市予防接種健康被害調査委員会共同設置規約の変更 (全会一致)
- 小千谷市営土地改良事業(災害復旧)の施行 (全会一致)
- 小千谷市教育委員会委員の任命 (起立全員)
- 人権擁護委員候補者の推薦 (起立全員)
- 契約の締結(南小学校(建築主体)建設工事) (全会一致)

発議

- 小千谷市議会委員会条例の一部改正 (全会一致)
- TPP交渉参加に向けた関係各国との協議の中止と国民への交渉内容等情報提供を求める意見書 (全会一致)

○TPP交渉参加に向けた協議の中止を求める請願 (採択)



常任委員会報告

総務文教委員会

本委員会に付託されました議案23件のうち21件は総務文教委員会単独で、2件は民生産業委員会との連合審査会で慎重に審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第11号 小千谷市防犯まちづくり条例の制定について

本案は、犯罪のない安全、安心な住みよいまちづくりを目指すための条例を制定するというものです。

○議案第12号 小千谷市暴力団排除条例の制定について

本案は、全国的な暴力団排除の活動に合わせ条例を制定するというものです。

○議案第13号 小千谷市墓地等の経営の許可等に関する条例の制定について

本案は、国の法改正による権限移譲により、条例を制定するというものです。

○議案第14号 小千谷市課設置条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、危機管理体制のさら

なる充実・強化のため危機管理課を設置するための改正です。

○議案第15号 小千谷市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、町内の合併に伴い市内路程表を変更するための改正です。

○議案第16号 小千谷市新潟県収入証紙購買基金条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、パスポート申請者の便宜を図るため、収入証紙を市の窓口で販売するための改正です。

○議案第17号 小千谷市税条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、地方税法等の一部改正に伴い関係する条文を改正するものです。

○議案第18号 小千谷市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、消防法の関係政令の一部改正及び県の事務移譲に伴い改正するものです。

○議案第19号 小千谷市公民館設置条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、社会教育法の改正に

伴い委員の委嘱基準を規定するものです。

○議案第20号 小千谷市立図書館条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、図書館法の改正に伴い委員の任命基準を規定するものです。

○議案第28号 小千谷市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、地方公営企業法施行令の改正に伴い、従来どおり資本剰余金を取崩しできる旨を定めるための改正です。

○議案第29号 小千谷市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、危険物の規制に関する政令の改正に伴い、経過措置等を規定するものです。

○議案第30号 小千谷市災害対策基金条例を廃止する条例の制定について

本案は、災害対策基金がその目的を達成することとなったことから、24年度をもって条例を廃止するというものです。

○議案第31号 平成23年度小千谷市一般会計補正予算(第8号)について

今回の補正は、歳入歳出それ

ぞれ2億2078万1千円を減額し、歳入歳出の総額をそれぞれ192億2524万6千円とするものです。

○議案第33号 平成23年度小千谷市水道事業会計補正予算(第2号)について

本案は、国道117号千谷バイパス建設に伴う水道用地の売却にかかる補正です。

○議案第34号 平成23年度小千谷市工業用水道事業会計補正予算(第2号)について

本案は、国道117号千谷バイパス建設に伴う工業用水道用地の売却及び企業債繰上げ償還の追加による補正です。

○議案第1号 平成24年度小千谷市一般会計予算について

平成24年度小千谷市一般会計予算の総額は、歳入歳出それぞれ171億2千万円で、前年度比2・3%減ですが、南小学校整備事業費を加えますと前年度とほぼ同じ予算規模です。歳入面

では、市税収入が依然として低迷しており、不足する財源は財政調整基金からの繰入金により確保しています。歳出においては、安心安全のまちづくりなど総合計画に掲げた目標達成のため、限られた財源を必要性、緊

急性、実行性の高い事業に重点的配分を行うとします。

○議案第6号 平成24年度小千谷市ガス事業会計予算について

本案は、予算規模で前年度に比較して2・7%の減額、収益的収入及び支出の収支差引額は433万1千円の赤字を見込んでおり、主要な工事としては、

経年管の計画的な布設替や耐震化を進めるための布設替工事等を予定しています。

○議案第7号 平成24年度小千谷市水道事業会計予算について

本案は、予算規模で前年度に比較して4・5%の減額、収益的収入及び支出の収支差引額は7643万円を見込んでおり、主要な工事としては、基幹配水管の布設替や管路耐震化を進めるための工事等を予定しています。

○議案第8号 平成24年度小千谷市工業用水道事業会計予算について

本案は、予算規模で前年度に比較して10・1%の減額、収益的収入及び支出の収支差引額は1957万6千円を見込んでおり、健全な事業運営と安定供給に努めたいというものです。

○議案第9号 平成24年度小千

民生産業委員会

谷市下水道事業会計予算について
 本案は、予算規模で前年度に比較して5・4%の減額、収益的収入及び支出の収支差引額は7754万1千円を見込んでおり、健全な事業運営と計画的な管理に努めたいというものです。

部を改正する条例の制定について
 本案は、全ての子の通院費助成を小学校卒業まで拡大し、平成24年9月1日から3人以上の子を有する保護者の子には、通院費及び入院費の助成を中学校卒業まで拡大するものです。

○議案第24号 小千谷市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
 本案は、第5期介護保険事業計画策定に基づき、介護保険料を改定するものです。

○議案第25号 小千谷市土地改良事業の負担金の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 本案は、土地改良法の一部改正に伴い、引用する条項を改正するものです。

○議案第21号 小千谷市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について
 本案は、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供に関する法律の改正に伴い、引用する条項を改正するものです。

○議案第22号 小千谷市児童遊園設置条例の一部を改正する条例の制定について
 本案は、児童遊園の管理実態に合わせ改正するものです。

○議案第23号 小千谷市子どもの医療費助成に関する条例の一部を改正するものについて
 本案は、公営住宅法の改正に伴い、入居資格を規則に規定し、引き続き同様な要件とするものです。

○議案第32号 平成23年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について
 本案は、電算システム使用負担金の増額等に伴う増額補正です。

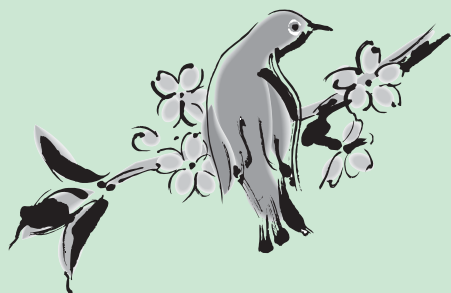
○議案第2号 平成24年度小千谷市国民健康保険特別会計予算について
 前年度に比較して5・7%の増となっており、歳入歳出予算の総額をそれぞれ38億9097万9千円とするものです。

○議案第3号 平成24年度小千谷市介護保険特別会計予算について
 前年度に比較して2・1%の増となっており、歳入歳出予算の総額をそれぞれ35億6617万6千円とするものです。

○議案第4号 平成24年度小千谷市後期高齢者医療特別会計予算について
 前年度に比較して1・0%の増となっており、歳入歳出予算の総額をそれぞれ7億2182万7千円とするものです。

○議案第5号 平成24年度小千谷市工業団地事業特別会計予算について
 前年度に比較して32・7%の減となっており、歳入歳出予算の総額をそれぞれ750万8千円とするものです。

○請願第1号 TPP交渉参加に向けた協議の中止を求める請願
 本請願は、TPPへの事実上の参加表明を撤回し、関係各国との協議を中止することを求める意見書を提出してもらいたいというものです。



会議録の閲覧

市議会本会議の会議録(平成15年第1回定例会以降)は市ホームページからご覧いただけます。

(平成24年第1回定例会の会議録掲載は、5月末頃となります。)

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp>

議会中継

市議会本会議は市ホームページからインターネット生中継でご覧いただけます。

本会議当日の生中継のほか、録画中継もご覧いただけます。(録画中継は本会議開催日のおよそ5日後から、翌定例会の初日の前日まで)

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp>

市政の内容を聞く 一般質問

病院統合問題と 当市の障がい福祉と 雇用について

田中 淳 議員

質問

①統合を予定している病院の立地場所についての考え方や、建設場所の選定調査や近隣市との関係を勘案し、2つの病院がお互いに統合への確認書を取り交わす前段で、前衛的な取り組みを当市として調査費を計上し準備室のような機関を設置し進めて行くべきと考えるが市長の考えを伺いたい。

答弁

①立地場所については建

設場所の選定に必要な情報は提供するが、病院経営を行って経験の深い方から選定いただくのが最良と考える。準備室のような機関の設置については、統合の合意成立に併せて設置したい。

②現在そういった情報は得ていない。



質問

①施設入所者の地域生活への移行目標で、国の基本指針により当市の移行目標が定められているが、当市における削減見込み人数、入出者の移行状況や今後の見通しは。

②福祉施設から一般就労への移行状況について、目標は平成17年度の4倍以上を一般就労への年間移行目標としているが、23年度における実態と見込みはどうなのか。

答弁

①平成23年度における施設入退所者数は各2名であり、今後2〜3名が移行するものと考えている。

社会的な孤立者対策 山本山活性化対策

阿部 正行 議員

質問

①一人暮らしの世帯数は？
②その年齢構成は？
③若者の孤立を防ぐために雇用を含めた取り組みは？
④若者の余暇の活用に関わり組むはあるか？
⑤高齢者の見守りは？
⑥地域コミュニティについて

⑦民生児童委員の取り組みは？
⑧自殺防止の取り組み全般は？
⑨自殺予防のために小中学校での教育は？
⑩一市民としてできることは？

答弁

①本年2月で2630世帯。
②30歳未満221世帯、30〜65歳未満1135世帯、65歳以上1274世帯。

②年間一般就労者数を8名と見込んでいたが、現在4名で目標値を下回っており、障がい者の就労が進んでいない状況にあります。引き続き講演会や各種事業を実施し、広く市民から障がい者への理解を深めていただけるよう努めたい。

③若者の生活安定には雇用が重要で、Uターン希望者等企業立地を含め雇用確保に努めたい。
④青少年ホームの活用等PRを積極的に行いたい。
⑤民生委員を中心に実態把握等健康相談を含め取り組んでいる。
⑥福祉会やいきいきサロン等交流の場を広げたい。
⑦定期的な見守り等行政への通報を行っている。
⑧健康相談、心の痛みの早期発見治療に努めたい。
⑨道徳教育を中心に生命の尊さを理解させるようにしている。
⑩何気ない挨拶が大事である。



質問

山本山活性化対策
①レストハウスを改造しては？
②山本山に精通したガイドの育成は？

③各種イベントの育成は？
④クラインガルテンのリピーターについて

答弁 ①投資効果等考える事が必要である。

②地元よりボランティアの協力をいただきたい。

③何らかの支援を考えたい。

④東京県人会等に働きかけたい。

今季の豪雪対応と 東日本大震災支援

長谷川 有理 議員

質問

除排雪は行政のみ個人のみで行い得るものではなく協働した取り組みが今後の課題。町内会やボランティア団体に除雪機の貸し出しを行い、除雪支援体制の拡充をすべきでは？

答弁

除雪支援拡充の仕組みづくりは行わない。県の除雪機械貸出を活用してもらいたい。



除雪に奮闘する市民(外之沢)

質問 要援護世帯に限られた除雪支援では集落維持や安全な市民生活維持には不十分。様々な体制作りや活動を図るべき。

答弁 自主的に助け合う取り組みが広がってほしい。

質問 除雪ボランティア導入を積極的に図るべきではないか。

答弁 事務局は社会福祉協議会を中心とした民間に任せたい。

質問 除雪技術の継承を行う雪かき道場などの開催を！

答弁 各世帯が親から子へ、子から孫へと伝承してほしい。

質問 農林水産被害の支援を。

答弁 国の災害復旧事業への手続を進め、春季の消雪遅延には田・農道の機械除雪・消雪剤散布等の経費支援を行う。

質問 東日本大震災被害に対して更なる支援を行うべき！

答弁 当市の避難者に引き続き情報提供等支援を行う。南相馬市からの要請を待つてこどもたちの一時疎開を受け入れる。派遣期間を短縮しても増員は難しく、当市職員の被災自治体派遣は2011年度3名・2012年度2名。

再質問 空き家マップ作成等の具体的雪被害対策を！

答弁 マップ作成を行う。

再質問 被災自治体派遣職員の見学報告会を行ってもらいたい。

答弁 行わない。情報公開で請求してほしい。

生涯学習(美術工芸関係)の振興について

川上 直栄 議員

より多くの市民の皆さんが標記の活動に参加できる機会と環境を整えるために以下質問する。

質問 「美術工芸教室受講生募集」の案内等が市報掲載されなくなったのはいつからか？その理由は？

答弁 主に初心者を対象に昭和58年度から開催されていたが平成21年度をもって終了した。理由は受講生の減少、運営のマンネリ化、参加者の固定化などの課題が生じたため当時の運営委員を交えて見直しを行った結果、教室終了の結論に達したものである。

質問 「合同作品展」廃止の理由は？

答弁 教室での成果の発表の場として開催していたが教室終了と同時に行っていない。

質問 美術工芸関係団体の活動状況把握は？

答弁 今年度登録団体は11団体

であり、毎年提出される書類で把握している。

質問 登録団体に対する支援は？

答弁 市民会館、市民学習センター、勤労青少年ホームなどの社会教育施設利用料の減免や、イベント、会員募集のためのチラシ配布、ポスター掲示の協力、展示スペースの無料開放などを行っている。今後は市民への紹介として市報おちやや市ホームページなどにも掲載したい。

質問 振興に対する基本的な考え方と今後の展望は？

答弁 市民の自主的活動を支援し、主体性を持って芸術、文化に親しみ、うるおいを実感できる心豊かなまちづくりをめざして市民への学習機会の提供や、企画の開催、市展の充実を図る。要望等があればいつでも担当課に相談いただきたい。

就学前の発達障がい児の療育・指導について

吉崎 進 議員

質問 小千谷市では、生まれてきた子に対して、こんにちには赤ちゃん事業、乳幼児集団健診を行っている。その中で、3歳児、5歳児検診で発達障がいがあるのではと思われる幼児がいると思う。しかし、検診は保健福祉課、家庭相談、プレイ教室は社会福祉課が実施主体となっているので保護者からはどこに相談したらよいか分かりにくいとの声を聞く。就学前の障がい児について、関係機関と連携を図るとはどのようなことか。また、社会福祉課の子育て支援係がすべての窓口になって保護者の相談・指導を行ってはどうか。

次に、小学校入学時の特別支援学級への進学で保護者との意思疎通が図れず、納得しない保護者もいる。幼稚園教員・保育士は知識を持っていると思うが、さらなる発達障がい児に対する研修会が多く必要と思うがどうか。

答弁 乳幼児健診やプレイ教室

での健康センターと社会福祉課との連携、保育園・幼稚園入園時における各園との連携、小学校入学時の教育委員会との連携、また、必要に応じて市外専門療育機関との連携も図っている。

各連携機関の情報には、社会福祉課児童相談員が関わり、保育士・幼稚園教諭の増員配置に結び付けている。

社会福祉課子育て支援係を就学前の障がい児すべての窓口にする考えはないが、問い合わせがあった場合は、適切な案内を行う。

23年度は市立保育園の保育士が7件の研修会に参加した。障がい児に関する各種研修会は多数開催されているので、今後も研修会に積極的に参加する。



特別支援学校の誘致・
空き施設跡地等の
利活用について

風間 順一 議員

質問 設置場所は塩殿小学校が最適と考えるがどうか。

答弁 校舎、屋内運動場とも新耐震基準により建設された学校は塩殿小学校です。県教育委員会との協議では、市街地に近く周辺環境も良く、想定している学校規模であれば開設可能との見解です。特別支援学校の適地と考えている。

質問 開設時期について。

答弁 平成26年4月1日開校が遅れることのないよう県に協議をお願いしている。

質問 県への要望活動の状況と県立、市立の比較検討について

教育長答弁 議会議決を受けて、設置について要望した。県教育庁義務教育課としては、7月上旬に結果が出て方針が示される。費用の面では、県立、市立で大差はない、いずれであっても県との協議を進め、特別支援教育が充実するよう努めていく。

質問 さくら保育園の跡地利用は。



答弁 築24年、当初、学童保育とデイサービス事業に利用することを検討してきたが学童保育は勤労青少年ホームで運営を継続することとなった。地元の元中子町内会に利用希望の確認をしてきたが利用しない旨の回答があった。今後は福祉関係の活用について検討する。

質問 法務局小千谷出張所は。

答弁 24年度に法務省から財務省に移管される財産の移管手続きが終了後、当市に対して、買取りの意向等について照会があると思う。

質問 リバービュー21跡地は。

答弁 市道川岸船岡外廻り線の幅が狭い、車道2車線と歩道を確保する道路用地として利用することを検討中である。

放射能汚染と
豪雪対策について

風間 健一 議員

1、原発「安全協定」について

質問 小千谷市も原発再稼働の事前協議等に参加するために東電と「安全協定」を結ぶべきでは。

答弁 国において福島原発事故の検証に基づく「安全基準」や「防災対策を重点的に充実すべき地域に関する考え方」について整理されたら、「市町村による原子力安全対策に関する研究会」において協議したい。

2、放射能汚染問題について

質問 山の杉や松の葉に放射性物質が蓄積されていると思われる。杉や松は2、3年すると落葉し田に流入する。土壌の調査と対策が必要だ。

答弁 国県の対策や指導に基づいた対策を進めます。

質問 雪消えとともに、学校や保育園等、通学路や公園等、子どもが近づく場所、側溝など「ホットスポット」になりやすい場所の詳細な調査を再開して

頂きたい。

答弁 小中学校、保育園等の空間放射線量測定を実施する。

質問 4月から食品中の放射能基準値が変わる。市の給食の食材の検査体制を伺いたい。

答弁 食材を使用日の前日である水曜日に業者より購入し前処理を行い、長岡地域振興局健康福祉環境部で測定する。

3、豪雪対策について

質問 今冬も災害救助法が適用になりました。県とも相談し、救助法による除排雪機材を、雪のやり場のない集落でも使えるようにして頂きたい。また災害救助法の要援護世帯の基準を抜本的に拡げていただきたい。

答弁 県の災害救助法の適用基準は厳しく、現段階ではできません。



桜町地内

市議会を傍聴してみませんか

第2回定例会開催予定

6月8日(金) 第1日 議案上程説明	6月22日(金) 第3日 一般質問
6月11日(月)~13日(水) 各常任委員会で審査	(質問者が多い場合に開催)
6月21日(木) 第2日 一般質問	6月26日(火) 最終日 委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局（TEL83-3505）へお問い合わせください。

〈1月〉

- 3日 安達稔議員逝去
- 10日 議会報編集委員会
- 13日 議会報編集委員会
- 17日 岩手県釜石市議会行政視察に来市
- 20日 議員協議会

議員全員協議会

〈2月〉

- 6日 議員協議会
- 15日 議員協議会
- 議員全員協議会
- 総務文教委員協議会
- 20日 全国高速自動車道市議会協議会総会（東京都）
- 21日 議会運営委員会
- 28日 第1回定例会（本会議）
- 議会報編集委員会
- 29日 常任委員会連合審査会

〈3月〉

- 1日 常任委員会連合審査会
- 2日 常任委員会連合審査会
- 6日 総務文教委員会
- 7日 民生産業委員会
- 15日 議会運営委員会
- 議会報編集委員会
- 議会報編集委員会
- 議会運営委員会
- 本会議（第3日）



46



高野 史郎（上ノ山）

最近、貧富の差が大きくなってきたと新聞・テレビ等でもやたら報道されているが、確かにバブル以前は1億すべて中流なんて言われていた事を思い出す。

先だって、新聞記事で米国では上位1%の人達の所得割合が全体の20%を超え、過去90年の歴史で最高との記事が載っていた。さらにイギリスの鉄の女サッチャーが映画化されたことが新聞記事に載り、その主人公メリル・ストリープが主演女優賞を獲得した。当時の英国は、大量の財政赤字、インフレと不況、頻繁な組合のストに見舞われていた。鉄の女サッチャーは国家の完全雇用、経済成長、市民の福祉の重視という国の平和と平穏を保障するであろう大前提の

一部を無視して？金融の自由化、キャピタルゲインへの課税削減、所得税の累進性の緩和、公営事業の民営化、規制緩和、社会福祉の国の関与からの撤退、労働組合への押さえ込みを推し進めた。結果として、イギリスを英国病から脱出させる事が出来たわけである。かつての労働党党首ブレアも私の履歴書でサッチャー時代の政策は大事な事であったと述懐している。大きな流れでは個人の自由という価値観は必要だが、社会的公正という価値観も必要だと思う。しかし、これは、必ずしも両立せず今回のような行き過ぎた所得格差を生んでいる。米国、英国、西欧は勿論の事、中国、ロシアを含む国々を覆いつくそうとしている、新自由主義といわれる考え方は、今後どういった経過をたどるのであろうか。今後の推移が興味深いところだ。

編集後記

今冬は11月末からほぼ毎日降雪があり、2月3日に災害救助法が適用され、さらに降雪が続き、22日まで延長されました。その後も災害救助法適用となる3か所（旧北陸農業試験場、池ヶ原、塩谷）の平均積雪量が3メートル8センチを超える日もありました。また、4月に入りましても降雪があり、ようやく9日過ぎから幾分春めいた陽気になってきました。

この豪雪により、消雪井戸が枯れて消パイの水が出なくなり、ところどころの道路に圧雪ができました。しかし、大きな事故はありませんでした。昼夜を問わず除雪作業に従事された皆様に心から感謝申し上げます。

昨冬、今冬の豪雪も雪が解けてしましますと忘れてしまっています。豪雪は3年続くとも言われております。消雪井戸の修理等早めの対応が必要と思われます。さて、今日10日に鶯の鳴き声を聞きました。ようやく待ちに待った春がすぐそこまで来ている。この4月28日には千谷工業団地内で「おぢや桜まつり」が、5月5日には船岡山で「船岡公園まつり」が予定されております。今後の天候により変わると思われますが、おぢや桜まつりには桜が咲いてくれることを願っております。

また、農作業に関しましても今後の天候次第ですが、早めに雪が解け、作付が遅れないことと融雪による河川の氾濫、田畑の土砂崩れ等の被害が出ないことを祈ります。

平成24年度が始まり、10日間が過ぎました。市民の皆様はそれぞれ希望に満ちた新しい生活を送っていると思います。しかし、1年1か月前に起きた東日本大震災の被災者の多くの方はいまだに避難生活を余儀なくされています。この震災を忘れないとともに復旧・復興にそれぞれが市民ができる応援をしていければと思います。

議会だよりの編集委員は、吉崎進、山賀一雄、山本道男、久保田陽一の4名で編集を行います。今後ともよろしくお願いたします。

